

# 駐車場無料時間が地方都市中心市街地への訪問行動に及ぼす影響に関する研究

秋田大学 学生会員 ○藤原 秀輝  
 秋田大学大学院 正会員 鈴木 雄  
 秋田大学大学院 正会員 日野 智

## 1. はじめに

多くの地方都市では自動車利用が交通手段の中心となっている。そのため、中心市街地では多くの駐車場が整備されている。例えば、秋田市の中心市街地である秋田駅周辺地域における主要な駐車場の位置を図1に示す。秋田市公営駐車場は西武やフォンテ AKITA の近くに立地し、女性専用スペースを設けている。トピコ・アルス第1駐車場（以下、トピコ駐車場）は駐車料金の30分間無料サービスを行っている。タイムズステーション秋田アルヴェ駐車場は秋田駅東口に立地し、アルヴェ映画館利用者に割引サービスを行っている。どの駐車場の駐車料金形態にも大きな差はない。また、駐車場のサービス水準が中心市街地への訪問行動に影響を与えることが過去の研究から明らかとされている。中心市街地では自動車での訪問者に対し、様々なサービス向上策が講じられてきた。例えば、トピコ駐車場では、利用者の増加を目的とし、試験的に2014年3月・4月の間、駐車無料時間を45分へ拡大するサービスを実施した。

本研究では、トピコ駐車場利用者への追跡調査およびJR秋田駅周辺地域訪問者への意識調査によって、駐車場施策による効果を明らかとし、地方都市中心市街地の駐車場のあり方について考察することを目的とする。



図1 各駐車場の位置

## 2. 追跡調査による駐車無料時間の拡大効果

駐車無料時間が45分間へ拡大された期間の2014年4月と駐車無料時間が通常の30分間に戻った2014年5月

のそれぞれにおいて、トピコ駐車場利用者に対する追跡調査を実施した。追跡調査では、トピコ駐車場利用者の駐車場利用開始から終了までを追跡し、個人属性、利用店舗、訪問店舗数、購入金額、サービス券の利用の有無などを調査した。追跡調査の集計結果を表1に示す。滞在時間や訪問店舗数では、30分無料期間と45分無料期間とで大きな差はみられない。どの調査日においても30分以下の駐車場利用が60%を越えており、滞在時間の短い利用者が多い。また1店舗あたりの滞在時間は20分程度となった。この結果からは、駐車無料時間が30分から45分に拡大したことによる効果は少ないと考えられる。

表1 追跡調査における調査結果

無料時間	調査数	滞在時間		訪問店舗数		購入金額	
		平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
30分(平日)	177	0.31	0.23	1.5	1.0	1879.5	3398.2
30分(休日)	131	0.27	0.20	1.6	1.0	1145.3	2248.4
45分(平日)	181	0.32	0.24	1.5	0.8	1661.0	3336.0
45分(休日)	130	0.28	0.20	1.6	1.1	2383.7	6080.8

## 3. 意識調査による中心市街地滞在行動の把握

JR秋田駅周辺地域訪問者を対象にし、JR秋田駅周辺地域を訪問する際の駐車場の選択行動やトピコ駐車場の無料時間方策に対する意識についての調査を行った。調査は2014年11月23日に実施し、520部配布した調査票のうち163部を回収している。

各駐車場の選択理由について質問した結果を表2に示す。「目的地までの距離」がどの駐車場でも選択理由として上位にあるが、他の理由は駐車場によって異なっている。「いつも利用しているから」と回答した被験者が多くはないことから、訪問の用途に合わせて駐車場を選択していることが推測される。トピコ駐車場の選択理由としては「無料時間があること」が多く挙げられており、特

表2 各駐車場の選択理由

選択理由	秋田市公営駐車場	トピコ・アルス第1駐車場	トピコ・アルス第2駐車場	タイムズステーション秋田アルヴェ駐車場
目的地までの距離	73.9%	50.0%	55.6%	57.9%
停めやすさ	20.3%	6.5%	5.6%	36.8%
駐車料金が安い	10.1%	6.5%	94.4%	10.5%
サービス券の有無	50.7%	26.1%	44.4%	21.1%
無料時間の有無	4.3%	65.2%	16.7%	10.5%
待ち時間が少ない	10.1%	10.9%	5.6%	15.8%
いつも利用している	17.4%	8.7%	22.2%	42.1%

キーワード: サービス評価、中心市街地、訪問行動、意識調査分析

連絡先: 〒010-8502 秋田県秋田市手形学園町1番1号 TEL(018)-889-2767 FAX(018)-889-2975

色の一つと考えられる。

駐車料金による秋田駅周辺での滞在行動への影響についても質問している。約 56%の被験者が駐車料金がかかることで秋田駅周辺を訪問することをあきらめた経験があると回答している。また、約 78%の被験者が駐車料金が加算されることで、滞在時間が短くなった経験があると回答している。駐車料金のシステムが中心市街地への訪問や滞在行動に影響を与えていることがわかる。

#### 4. 駐車無料時間が訪問行動に及ぼす影響

##### (1)無料時間の拡大による効果

調査では、約 80%の被験者がトピコ駐車場の無料時間が 45 分へ延長されたことを知らない結果となった。トピコ駐車場の無料時間が 30 分から 45 分に拡大されたことによる効果を図 2 に示す。約 70%の被験者が駐車無料時間が 45 分に延長されることで「買い物時間が延びる」「買い物時間に余裕を感じる」と回答している。また、約 45%の被験者が「訪問店舗数が増える」と回答している。無料駐車時間の延長に効果を感じる被験者は少なくないといえる。

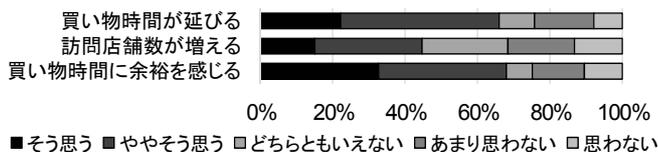


図 2 駐車無料時間の延長による効果

次に、駐車無料時間の有無や時間の延長による、秋田駅周辺地域への訪問頻度の変化を図 3 に示す。駐車無料時間が無くなることで約 38%の被験者が「行かなくなる」と回答している。トピコ駐車場の利用者は短い滞在時間の被験者も多く、無料時間のある駐車場が無くなることで、秋田駅周辺地域への訪問自体が無くなることも危惧される。駐車無料時間の延長でみると、訪問頻度が「増える」と回答した被験者は、45 分への延長ではわずか 8%であるが、60 分の無料時間では 48%へ急増する。また、120 分では 82%にまで増える。

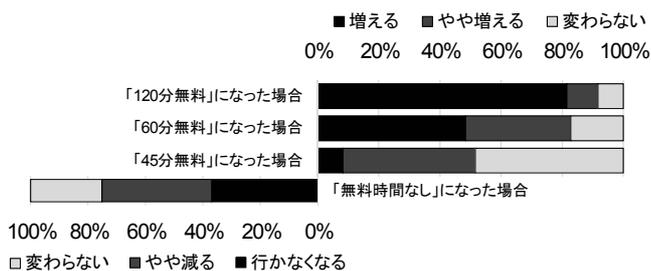


図 3 駐車無料時間と訪問頻度の関係

#### (2)コンジョイント分析による駐車場利用条件評価

本研究では、秋田市中心市街地における駐車場の利便性を検討する上で、駐車場の選択行動に影響を与えうる要因の個別効果の測定と組み合わせの評価を行うためにコンジョイント分析を用いた。表 3 に示す項目と水準を L<sub>9</sub>直交表により 9 つの票種に割り付けて作成したプロファイルのそれぞれに 0~100 点で同一の点数がないように、被験者に点数をつけてもらった。

表 3 コンジョイント分析の項目と水準

項目	第1水準	第2水準	第3水準
サービス券	2000円以上の 買い物で発行	サービス券の 発行なし	
目的地までの距離	近い (徒歩約2分程度)	遠い (徒歩約10分程度)	
利用料金	1時間100円 60分無料	1時間200円 30分無料	1時間300円 無料時間なし

各水準の部分効用値を図 4 に示す。無料時間の部分効用値をみると「30分」ではほぼゼロに近い値であり、駐車場の評価には作用していないことがわかる。一方、「60分」の効用値は 14.331 と全要因の中で最大となった。また、駐車料金の部分効用値をみると現況の「200円」でもマイナスとなっており、現在の料金体系では駐車場の評価に対し、マイナスに作用していることがわかる。

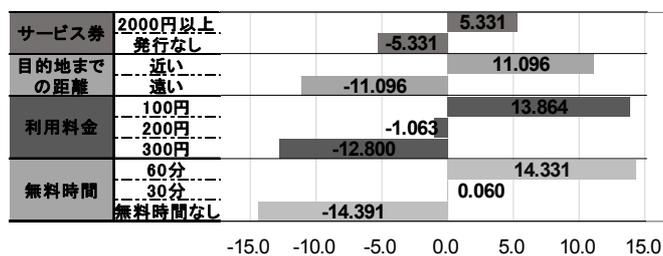


図 4 各水準の部分効用値

#### 5. おわりに

追跡調査の結果からは駐車無料時間が 45 分間に延長されたことによる滞在時間の効果はみられなかった。これは、無料時間が延長を知らない人が多くいたことが影響していると考えられる。意識調査では、駐車無料時間が 45 分間へ延長されることで「買い物時間が延びる」などの効果が期待できると回答されている。しかし、実際には滞在時間が延びていない。追跡調査における 1 店舗あたりの滞在時間が 20 分であることから、移動時間も含めると 15 分のみの延長では訪問店舗を増やすことにはつながらないと考えられる。45 分無料になってもさほど訪問頻度が増えない被験者が多いこと、コンジョイント分析の部分効用値が「60分無料」で最大になっていることから、より多くの効果をあげるためには駐車無料時間を 60 分とすることが望ましい。